はしがき……1

第一章　銅鐸伝承の発掘……17

第一節　銅鐸伝承の痕跡を求めて……17
第二節　銅鐸はスキ・ススキ・スズ……21
第三節　鐸名ツミはトミ・トビに変わったか……32
第四節　「鳴る銅鐸」と「照る銅鐸」……40
第五節　銅鐸の埋納と祭の終焉……42
第六節　銅鐸伝承の残欠……47
第七節　おわりに……51

第二章　銅鐸伝承と八朔の祭……55

第一節　はじめに……55
第二節　ホヅミ・ススキ（スズキ）と八朔……56
第三節　八朔の祭と鹿……61
第四節　鉄鐸と八朔……66
第五節　イカヅチと聖婚……74
第六節　アキツとアキツシマ……78
第七節　古代の韓国・中国とのかかわり……82
第八節　ヤマタノヲロチ伝説と八朔……86
第九節　イケニエの祭……91
第十節　春の予祝神事と鐸祭……97
第十一節　ウケモチのウケはワカと同根……103
第十二節　稲作の二種の穀霊……106
第十三節　おわりに……107

第三章　和数詞の成り立ち……117

第一節　はじめに……117
第二節　倍加法をもたらした機織り作業……118
第三節　数詞ヒト・フタ……124
第四節　数詞ミ（ツ）・ム（ツ）……128
第五節　数詞ヨ（ツ）・ヤ（ツ）……130
第六節　数詞イツ・トヲ……132
第七節　数詞ナナ・ココノ……134
第八節　ハタチ（二十）・ヤソ（八十）など……136
第九節　おわりに……140

第四章　タナバタ（棚機・七夕）とは……146

第一節　はじめに……146
第二節　タナとタナナシヲブネ（棚無小舟）……147
第三節　ユカハタナ（湯河板挙）……149
第四節　タナシル・タナシラズとタナユヒ……154
第五節　ミクラタナ（御倉板挙）……156
第六節　タナバタ（棚機・七夕）……158
第七節　タナビク・タナギラフ・タナグモリ……162
第八節　八重タナ雲……167
第九節　タナクラ・タナダ……169
第十節　ころも手の田上山……173
第十一節　おわりに……174

第五章　倭とは「渡り」の意である……177

第一節　はじめに……177
第二節　ヲカ・ヲシマとワ……178
第三節　アヲとアホ・アフ・オフ・オホシ……185
第四節　オシハ（押歯）とサキクサ（三枝）……192
第五節　アハ（淡）・アフミ（淡海）……195
第六節　淡洲（淡島）・淡路島……198
第七節　阿波と枕詞「しながどり」……202
第八節　オホヤマツミ……205

第九節　凡直（おほしあたひ）（大直）について……206
第十節　オホヤマト（大倭・大和・大日本）……210
第十一節　倭の淵源を探る……216
第十二節　おわりに……223

第六章　内国（うちつくに）（ウツクニ）は国名の一つ……229
第一節　はじめに……229
第二節　中洲と内国……230
第三節　内宮家……239
第四節　内臣……241
第五節　貴国……245
第六節　ウチ（ツ）国の傍証……250
第七節　内国の意義と畿内制……253
第八節　国号「日本」の成立……258
第九節　大和と邪馬台国……265
第十節　おわりに……267

第七章　新嘗の原義とヲシモノ（酒）……271
第一節　新嘗の訓義……271
第二節　「神武前紀」の事例とナメ……273
第三節　タム酒とタメつもの……277
第四節　ヲモノ・ヲシモノ……282
第五節　ヲス（食）国……286
第六節　うまさけ三輪……291
第七節　ワサ・ワセ（早・早稲）……294
第八節　おわりに……298

第八章　ツミ・ツチ・ツツという霊格……301
第一節　ワタツミ・ヤマツミの表記……301
第二節　霊格はツミかミか……304
第三節　ツミという霊格とその周辺……307
第四節　ツミの語義とその霊格性……309
第五節　霊格はツチかチか……313
第六節　ミカヅチ・イカヅチを例にして……316

第七節　タチのつく神……321
第八節　ツツ（筒・土）の神……326
第九節　シホツツノヲヂ・シホツチノヲヂ……332
第十節　おわりに……336

第九章　オホアナムチとスクナヒコナ……340
第一節　はじめに……340
第二節　オホアナムチの表記と訓み……341
第三節　オホアナムチのアナ……343
第四節　オホアナムチのオホ……351
第五節　大国主・大物主・大国玉・顕国玉……354
第六節　葦原醜男……361
第七節　播磨でのオホアナムチ……368
第八節　出雲・内国への移動の仮説……375
第九節　スクナヒコナの名義と神格……381
第十節　おわりに……386

第十章　古代采女（うねめ）とヲナリ……392
第一節　ウネメ論のはじめに……392
第二節　古代のウネメ……394
第三節　ウネメの語源……410
第四節　ウナヰ（髣髴）……413
第五節　田植えのヲナリ……417
第六節　南島のヲナリ……421
第七節　枕詞「あしひきの」……424
第八節　おわりに……429

あとがき……435
索引……448